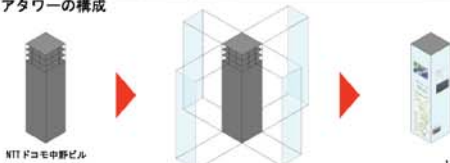




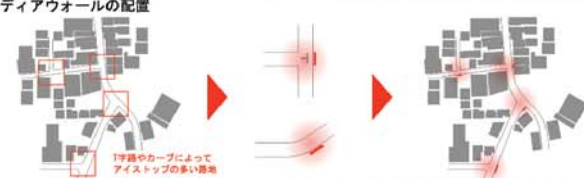
■メディアタワーの構成



NTTドコモ中野ビル

中野駅北ロータリーから最も視認性のある高層ビルはNTTドコモ中野ビルです。このビルをダブルスキンに改修することで中野の様々な情報を映すメディアタワーと配置づけます。ここで人が持つ潜在的なポテンシャルを活性化します。また、防災情報や選挙情報などの公共的な情報も映し出します。

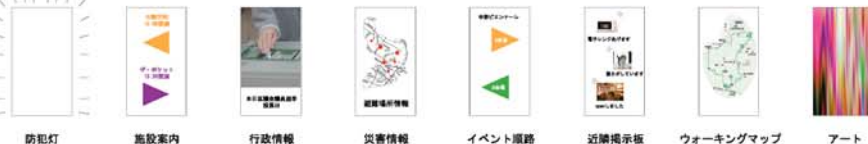
■メディアウォールの配置



1階路やカーブによって
アイストップの多い街道

中野に多く見られるT字路、地形に沿って曲がった道など視線が途切れる街路を街の特性のひとつと捉え、アイストップとなるこれらの場所メディアウォールを設置します。これは、昔ながらの街路を持つ中野らしい、新たな情報発信の方法となります。

■様々な情報を発信するメディアウォール



防犯灯

施設案内

行政情報

災害情報

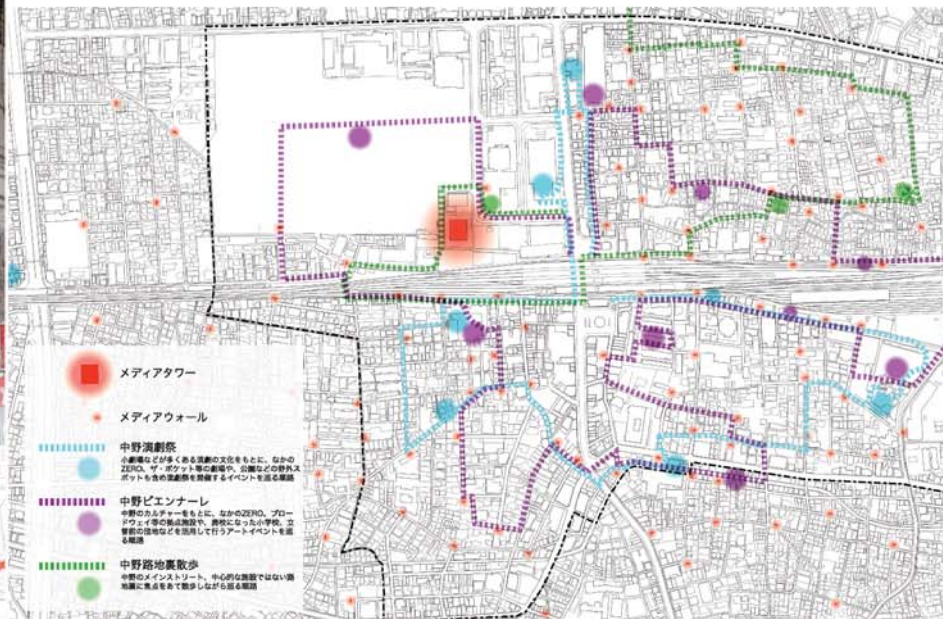
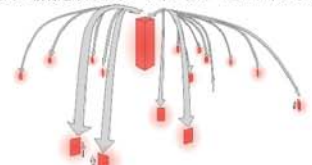
イベント履歴

近隣掲示板

ウォーキングマップ

アート

■双方向的に情報を映し出すメディアタワーとメディアウォール



メディアタワー

メディアウォール

中野演劇祭

中野ピエンナレ

中野路地震散歩

メディアウォール

■中野らしさを考える
中野駅周辺は、再開発や昔ながらの町並みなどが残った地域であるため、中野らしさを表現しづらいつと進んでいます。そこで現在進められている大規模なインフラ整備と平行して、中野のロカリティから生まれる小さなインフラを整備することで、中野らしい街づくりを提案します。

■大きなインフラで駅前顔をつくる
中野北口から高い視認性を持つ高層ビル群は、整然とした無機質なファサードで構成されています。中でもNTTドコモ中野ビルは、中野サンプラザに替わる大きなボリュームとして存在感を増しています。そのビルの外装をダブルスキンとし、中野の様々な情報を映し出すメディアタワーに改修します。

■小さなインフラで街をつなぐ
再開発による整然とした街づくりが進められる一方、中野にはT字路、地形に沿って曲がった道など視線が途切れる街路が多く見受けられます。それも歴史を持つ中野の特性のひとつと捉え、アイストップとなる場所にメディアウォールを設置します。このメディアウォールとメディアタワーはインタラクティブに中野の情報を発信します。

■街を活性化させる
メディアウォールとメディアタワーを媒体に発信される情報は、中野のカルチャー、サブカルチャーなどの街が持つ潜在的なポテンシャルです。これまで分断されていた情報が可視化され、繋がりをもち表現されることで新たな価値となり街を活性化します。また、防災情報や選挙情報などの公共的な情報を伝達する身近な手段ともなります。このメディアウォールは今回の設定範囲を越えて配置されていくことで、駅周辺ではない流動的な人の流れ、情報の流れを誘発し、さらに広い地域が活性化されます。